

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱ



暖かい天气に恵まれた豊原運動会が5月25日(土)に開催されました。子供からお年寄りまで幅広い年齢層が競技に参加し、趣向を凝らした全16競技が行われました。地域全体で交流を深め、楽しいひと時となりました。



JA中春別

6月号

2019 Vol. 497



Aコープの春の感謝祭が5月15日(水)、16日(木)に開催され、会場は賑わいを見せました。

Aコープ
春の感謝祭

感謝の心で、
お買い得品を満載!

当日は天候にも恵まれ、絶好の感謝祭日和となりました。会場には、食料品や飲料、花・野菜苗、衣類に農業用の生産資材と、たくさんテナントが出店され、春のAコープ感謝祭が多くな人で賑わう中、開催しました。

地元の新鮮なホタテや

ホツキが、特別価格で販売されるといふことで、開店前から長蛇の列ができ、あつという間に完売となりました。

また、青年部では牛ロースの試食販売、女性部ではミルクプリン・スイートポテト・なかしゅんロールの試食販売が行われました。中でもなかしゅんロールはリニューアルしたこともあり、お客様からも好評でした。



好評だった青年部の牛ロースの試食販売、女性部はミルクプリンなどの試食販売



女性部 Young Women's Division

たくさんの方たちと交流し、
意見交換をしました

J A根室地区女性協
フレッシュユミズ交流会

根室農業会館にて、J A根室地区女性協フレッシュユミズ交流会が5月21日(火)行われました。

ワールドカフェを開催し、「Y O Uはなにしているフレミズで？」という議題で対話交流を行いました。

それぞれの部会がどのように活動しているか、悩んでいることはあるか、フレミズでできることは何かあるかなど、たくさんの人と対話をし、「今回の交流会を通して、面識のない人とでも一つのテーマで話し合うことで楽しく会話ができた。今後いろいろな行事に参加してみたいと思います」など、今後に向けた前向きな意見が多く出しました。

持ち寄り・お取り寄せ試食会では、様々



な地域の「道内外のJ Aや女性部が携わった加工品やAコープマーク品、管内J Aおすすめ品を持ち寄り試食会を行いました。当フレッシュユミズ部会では「乳ぼた餃子」と「なかしゅんロール」を出品し「ロールケーキは甘さ控えめでおいしい!」「ぼたてが入っている餃子は初めて食べました。美味しいので自分でも買おうかと思えます」など大好評でした。

女性部の活動をピックアップ

助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

女性部趣味の会

今年度の行事予定を決定しました

趣味の会では、4月22日(月)に懇談会とエコクラフト作品作りを行いました。

懇談会では今年度の行事を決定し、終了後にはエコクラフトでミニランドセル作りを行いました。こんなに幅広のクラフト



テープなにかと思いきや、なんと趣味の会リーダーの阿部さんが、クラフトテープ同士を接着剤で貼り合わせて作ったものだそうです。しつかりとつながったクラフトテープ同士は、ちょっとやさつとじゃ剥がれることなく、綺麗にランドセルの形を作ることができました。シールやビーズでデコレーションをし、素敵な作品ができあがりました。



新千歳空港・牛乳乳製品消費拡大運動

千歳空港にて別海町産の乳製品をPR

5月25日(土)JA・青年部・女性部合同事業「牛乳乳製品消費拡大運動」を、部員5人参加のもと、新千歳空港内の東急百貨店にて実施しました。



牛乳乳製品の消費拡大を目的に試飲会を実施し、同時に空港内を訪れる観光客や地域住民へ別海町のPRも実施。

試飲会はべつつかい乳業興社の牛乳とコーヒート牛乳、飲むヨーグルト(プレーン・いちご味)を使用しました。子供連れの来場者や海外からの観光客が多く、青年部Facebookを用いた事前周知や、プラカードを用いた呼び込みの効果もあり、たくさんの方の来

場者が足を運んでくださいました。

試飲やべつつかい乳業興社商品を購入された方には、ミルクや青年部・女性部オリジナルグッズを配布いたしました。

今回の試飲会を通し、別海町の知名度を上げることができ、また、消費者と生産者を繋ぎ、牛乳乳製品の消費拡大の足がかりとなる貴重な場となりました。参加された皆さんお疲れ様でした。



千歳空港内にて乳製品を観光客にPRする青年部、女性部のみなさん



外国人観光客へ試飲を進める部員たち



青年部 *Youth Association* 若い力を結集して未来の酪農郷を築こう!

青年部員、農協職員との交流会

おいしい焼肉を囲んで交流会

青年部では、5月18日(土)青年部員・農協職員の交流会を別海町憩いの森公園にて開催し、部員と職員(うち新人職員3人)合わせて20人と、例年に比べてたくさんの方が集まりました。

農協新人職員より自己紹介が行われ、片岡副部長の乾杯の挨拶により交流会がスタートしました。部員、職員ともに交じりながら



テーブルを囲み、おいしい焼肉に舌つづみをうちながら仕事やプライベートな話など、会話が華を咲かせました。終了間際も話題が尽きることなく親睦を図り、賑や

かな雰囲気での交流会となりました。

交流会を機に青年部員と農協職員の繋がりがより増し、今後の営農に役立てていただければと思います。



職員の確保・養成とサービスの向上

酪農ヘルパー利用組合定期総会

第27回JA中春別酪農ヘルパー利用組合定期総会が4月23日(火)開催されました。

開催にあたり兼松ヘルパー利用組合長より挨拶が述べられ、来賓を代表し小湊組合長より祝辞をいただきました。

引き続き藤原寛史氏を議長として議事に入り、第1号議案「平成30年度事業報告及び決算報告書の承認について」、第2号議案「平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」、第3号議案「賦課金の賦課及び徴収方法、並びに利用料金について」、第4号議案「利用料金改定について」、第5号議案「規約の改正について」、第6号議案「役員選考委員の選出について」以上6議案が審議され、全て可決承認されました。

組合定期総会



「草地を長持ちさせるための、追肥の効果について

チモシー採草地は、早春の施肥だけではなく1番草収穫後の追肥により持続性を高められます。

今回は1番草収穫後の追肥の効果について紹介します。

1 追肥は来年の1番草収量に影響します！

チモシーは、1番草が収穫されるとほとんどの刈り残った茎葉が枯死し、収穫して7日～10日目頃に新しい茎（分げつ）が発生します（写真1）。

この新しい茎が2番草を構成し、越冬して翌年の1番草を構成する分げつになります。2番草で分げつが増えると翌年の1番草の茎数が増加し、密度維持に寄与します。2番草の分げつを増やすには、1番草収穫後の施肥が効果的です。チモシーは、1番草が収穫されるとほとんどの刈り残った茎葉が枯死し、収穫して7日～10日目頃に新しい茎（分げつ）が発生します（写真1）。

この新しい茎が2番草を構成し、越冬して翌年の1番草を構成する分げつになります。2番草で分げつが増えると翌年の1番草の茎数が増加し、密度維持に寄与します。2番草の分げつを増やすには、1番草収穫後の施肥が効果的です。

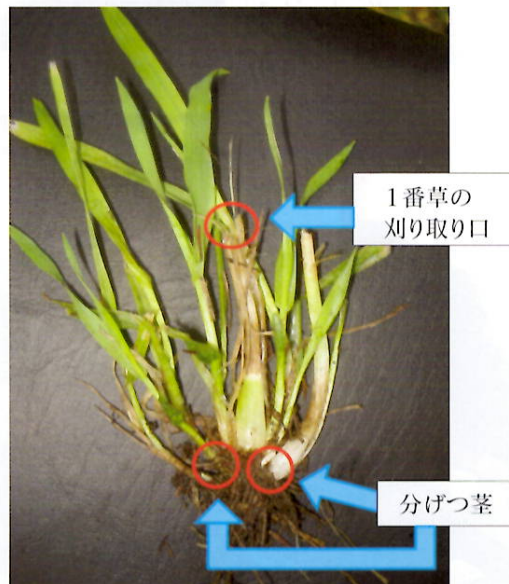


写真1 チモシーの新分げつ

2 裸地拡大の軽減・雑草の侵入防止

1番草収穫後に追肥が無いと、葉が黄緑色に変色し、斑点病などの病害が発生してしまう場合があります（写真2）。その結果、チモシーが衰退して雑草が侵入することで草種構成が悪化します。



写真2 1番草収穫後、養分不足のチモシー

3 追肥時期について

追肥はタイミングが重要です。ベストは、1番草収穫後7～10日前後です。1茎重（1本の重さ）が高まることで、収量が増加します（図1）。収穫後10日目までは、刈取り残部の貯蔵養分に依存して成長します。10～20日は、新しい茎が根から養分を吸収して成長します。そのため、この期間は窒素施肥の効果が高く、窒素吸収も旺盛なので、2番草の分げつを増加させるとともに1茎重を高めて増収させる効果があります。収穫後、速やかに追肥が行えるように、早めに肥料の準備などを行きましょう！

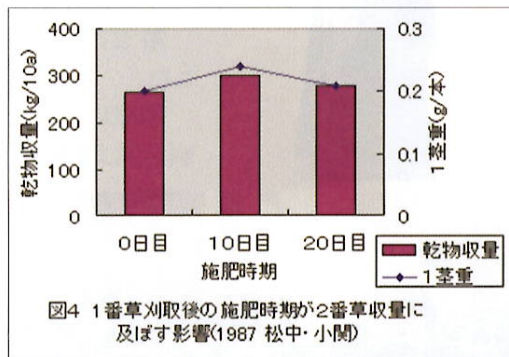


図1 1番草刈取後の施肥時期が2番草収量に及ぼす影響(1987 松中・小関)

1番草収穫後の追肥は、収量を確保し、草種構成を維持するために重要です。忙しい季節となりますが、農作業事故に十分注意してください。



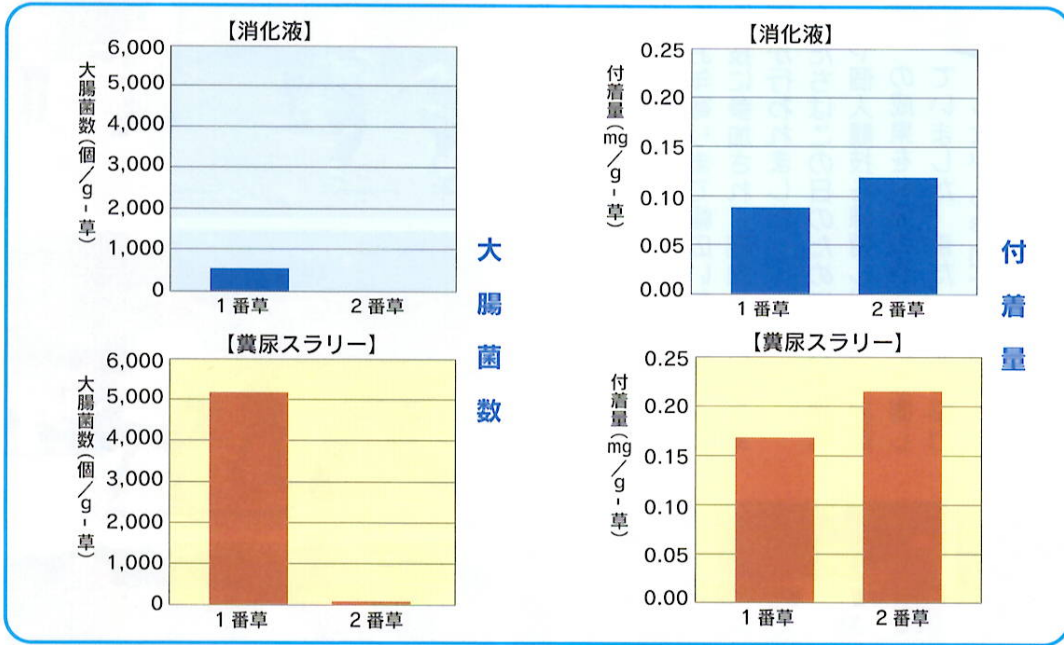
PART 1

消化液の効果的な活用に向けて

スラリー散布と消化液散布による牧草付着試験を行いました。

○スラリー散布と消化液散布を行った場合、牧草にどのくらい液が付着するのか、また、付着による牧草の大腸菌増減について試験を行いました。10aあたり2tを散布してから40日後に刈り取りをし、草に付着している量と大腸菌の数を検査しました。

消化液はスラリーに比べて粘度が低いため、散布後の草に付着しにくいことがわかりました。
春散布や1番後の散布でも、草への悪影響は少ないと思われるです。



消化液成分値

項目	単位	分析値
水分量	%	93.6
窒素(N)	%	0.37
リン酸(P ₂ O ₅)	%	0.17
カリ(K ₂ O)	%	0.38

消化液向け肥料の販売が始まりました

○以前より普及センター、ホクレン、JA、別海バイオガス発電で試験を行っていた「消化液向け肥料」の販売が開始されました。コントラに依頼して原料の散布（既存肥料）を行った場合と、原料を別海バイオガス発電に搬出し消化液を散布（新肥料）した場合の価格を比較しました。

○堆肥農家さんの場合 ※2019年4月価格改定

堆肥の散布をコントラに依頼した場合			堆肥をBBPに搬出し消化液を利用した場合			
円/ha			円/ha			
堆肥運搬	20t	7,200	堆肥搬入	20t	700円/t	14,000
堆肥散布		14,000	糞尿買取	20t	-10円/t	-200
既存肥料	055P 400kg	24,740	消化液	50t/年	410円/t	輸送費込 20,500
	565 200kg	12,180	消化液散布		250円/t	輸送費込 12,500
		¥58,120	085	400kg		12,180
						¥58,980

○スラリー農家さんの場合 ※2019年4月価格改定

スラリー散布をコントラに依頼した場合			スラリーをBBPに搬出し消化液を利用した場合			
円/ha			円/ha			
スラリー散布	50t	9,000	スラリー搬入	50t/年	600円/t	30,000
			糞尿買取		-100円/t	-5,000
既存肥料	007 400kg	24,220	消化液	50t/年	410円/t	輸送費込 20,500
			消化液散布		250円/t	輸送費込 12,500
			088	400kg		20,140
		¥33,220				¥78,140

消化液散布のメリット

- ・牧草に付着しにくい
- ・大腸菌の影響が少ない
- ・土壌改良剤として有効
- ・散布時期臭気が少ない

消化液の方が費用はかかりますが、上記のような消化液散布によるメリットがあります。

団結力 心をつないで

豊原運動会



旧豊原小学校グラウンドで豊原合同体育大会が5月25日(土)開催されました。

天気にも恵まれ絶好の体育大会日和。この日を楽しみにしていた豊原地区の子供からお年寄りまで幅広い年齢層の人たちが競技に参加され、趣向を凝らした全16競技が行われました。

子供たちはこの日のために踊りの練習や個人競技を練習し、当日は練習の成果を父兄の皆さんに披露していました。また、父兄で協力しながら参加する競技もあり、観客からは終始賑やかな歓声が上がっていました。

最後は懇親会の席を設け、焼肉に舌つづみをうちなながら、地域の方との交流を深め、楽しいひと時を過ごしました。参加された皆様お疲れ様



みんなが笑顔



仲間とともに絆を深め 心をひとつにみんな輝け！

でした。
なお、掲載されました写真は芳賀均氏が撮影されたものをお借りしたものです。ありがとうございました。



新たな改良技術について学びました

4月23日、24日の2日間の日程で（一社）ジェネティクス北海道に視察に行き研修を受けました。



最新の乳牛改良について学びました

今回は改良部の田代一歩さんより「国内外の乳牛改良について」と題し、大きくゲノミック評価、体外受精卵（OPU・IVF）技術、A2ミルクの3点について説明していただきました。

ゲノミック評価では毛根を採取し検査をすると、対

象の牛がどのような能力を保有しているかが予測値で分かり、例えば牛群内の選抜の方法に使われる評価値となるそうです。この数値が高い、あるいは自分でこの牛の血統が増えればいいなあとという方には体外受精卵（OPU・IVF）技術、採卵技術を用いれば、牛群

内の改良速度が増し、より自分の経営に合った牛達が多く生み出すことができるそうです。

「A2ミルク」はなかなか聞きなれない言葉でしたが、A2とはお腹を下しにくいとされる乳中のたんぱく質のことで、最近JA中標津にて販売され始めました。世界的にも需要が高まってきてい



講師の田代さんと

ようになるのではないかと
思いました。

るようで、A2遺伝子を保有している種雄牛を交配し続けると、生産される生乳のたんぱく質はA2になるそうです。現在日本では、A2遺伝子の検査は出来ないので、採材を海外へ輸送し検査しているそうです。

今回の視察を通じて近い将来、用途に合わせた選ばれし牛達だけが生産される

最後にになりましたが、企画して下さった同志会役員を始め、いつも親切なジェネティクス北海道の方々、春作業で忙しい中、快く研修に送り出してくれた家族に感謝しながら研修後の自由時間を皆で楽しく過ごしました。ありがとうございました。

春別川 クリーン作戦



5月8日(水)中春別市街にて「春別川クリーン作戦」が開催され、中春別小学校・中学校、農協職員、青年部、女性部合同で行われ、約150人の参加者が集いました。

中春別の環境美化と保全に向けて活動

当日、開始前には小雨が降り不安もありましたが、開始になる頃にはすっかり雨も上がりました。開会式では山田青年部長より挨拶をいただき、春別川クリーン作戦がスタートしました。中春別市街から川沿いを8班集体制で決められたルート歩き、ゴミ拾いを開始。

タバコの吸い殻などといった小さなゴミが目立っており、中学生がゴミ袋を持ち、小学生をリードしながら、お互いに協力する場面が見受けられました。青年部、女性部、農協職員も後に続き、約1時間かけて環境美化をしました。



タバコの吸い殻などといった小さなゴミが目立っており、中学生がゴミ袋を持ち、小学生をリードしながら、お互いに協力する場面が見受けられました。青年部、女性部、農協職員も後に続き、約1時間かけて環境美化をしました。

当日、開始前には小雨が降り不安もありましたが、開始になる頃にはすっかり雨も上がりました。開会式では山田青年部長より挨拶をいただき、春別川クリーン作戦がスタートしました。中春別市街から川沿いを8班集体制で決められたルート歩き、ゴミ拾いを開始。

最後に南澤女性部長より挨拶をいただき、春別川クリーン作戦が終了しました。今後も環境への配慮をか

かさず、中春別の環境保全を図られればと願っています。参加された皆様お疲れ様でした。



中春別酪農振興会 視察研修会

(有)中山農場最先端システムを視察

中春別酪農振興会(村山英司会長)では、会員の知識向上を目的とした視察研修を6月3日(月)に会員11人参加の中行いました。

平成28年度にクラスター
関連事業を活用し、F S牛
舎、搾乳ロボット6台を導入
した(有)中山農場を視察しま
した。



(有)中山農場ではデラバル
(株)の搾乳ロボットを6基、
また最先端システムである
ハードナビゲーターを導入
し、乳汁の分析データによ

り早期疾病
発見及び繁
殖管理など
も行っていま
す。

取締役の中
山泰輔さんに
案内され牛
舎をまわり、
非常に涼しい
牛舎内で牛も
ゆつたりして
おり、会員か
ら「可能で
あれば、自分
も導入してみ
たい」などの
声も上がりま
した。
搾乳ロボッ
トのほかには



乳ロボット(カーフレール)
も見学させてもらい、知識
向上に繋がる有意義な視察
となりました。

視察後、昼食をとりつつ
これから始まる収穫作業や
家族の話題に盛り上がりま
した。



農協主催の植樹祭が5月
30日(木)中春別地区富岡の農
協所有地0.3haにおいて
行いました。

当日は晴天の中開催する
ことができ、組合員を始め
別海町、野付漁業組合、根室
振興局、釧路開発建設部、別
海町森林組合など多数の関
係機関より参加いただきま
した。約90人の参加者が7
50本の苗木(ナラ・エン
ジュ他)をスコップ片手に協



力し合いながら一本一本丁
寧に植樹をしました。
苗木から美しく豊かな森
へとなることを願い、標柱杭
を立て植樹祭は無事終
了いたしました。

今後中春別地域河
川流域環境保全推進委
員会を中心に、環境に
配慮した資源循環型酪
農の推進を行う計画で
ありますので、皆さんの
ご協力をお願いいたし
ます。参加された皆様
お疲れ様でした。

環境の保全に向けて、
750本の苗木を植樹 JA中春別 植樹祭



●【経営科】プロジェクト計画発表会

4月25日(木)に、今年度のプロジェクト活動の計画について審議する「プロジェクト計画発表会」がおこなわれました。この計画発表会では、プレゼンテーションをとおして説明する力や計画的に準備を進める力を養うとともに、内容をよりよくするための意見交換および質疑応答などもおこなわれました。



計画発表会の様子

現在、動物バイオ専攻班、飼料作物専攻班、資源循環専攻班、乳製品加工専攻班の4班がそれぞれのプロジェクト活動をおこなっており、生徒の積極的な質疑と意見交換がおこなわれました。1年生も聴講するとともに物怖じすることなく先輩に研究内容についての質疑をおこない、充実した計画発表会となりました。

今後、各専攻班ともに研究を進め、冬には成果をまとめてプロジェクト実績発表大会を実施します。

●【経営科】校内意見発表大会

5月13日(月)に本校体育館にて校内意見発表大会を実施しました。



意見発表会の様子

4月中旬に各学年のクラス内意見発表大会で選出された代表生徒12人が、本校体育館のステージにて自分の意見発表をおこないました。外部審査員を含む5名の審査員の厳正な審査のもと選出された代表生徒は、6月19日に東藻琴高校にておこなわれる東北北海道学校農業クラブ連盟意見発表大会に出場します。今回実施した校内意見発表大会の最優秀者は下記のとおりです。

分野(特)類「生産・流通・経営に関わる発表」

最優秀賞「我が家の経営改善に向けて」

酪農経営科 3年 守屋 由真

分野(鑑)類「開発・保全・創造に関わる発表」

最優秀賞「別海のチーズに夢を添えて」

酪農経営科 3年 金内 ゆかり

分野(企)類「ヒューマンサービスに関わる発表」

最優秀賞「生産者と消費者の想いをかたちに」

酪農経営科 3年 菅野 涼

●専攻科【修了研究活動計画発表会】

4月19日(金)に専攻科ゼミ室を会場にして「修了研究活動計画発表会」が行われました。これは、2年目学生が1年間自家の課題解決のため、研究に取り組むための計画を発表するものです。

今年度は「ネックレールの調整とベットメイキングの見直しによる乳房炎減少を目指して」、「光合成菌の制菌効果で糞尿臭を減少～酪農のイメージ向上を目指して～」、「肢の疾病を減らす」、「丈夫な育成牛を育てる」、「トライアンドエラーで経営改善を目指して」、「和牛と乳牛生産の両立化」の6つのテーマ



修了研究活動計画発表会の様子

とし、それぞれの課題を発表し、どのような点に着目し課題解決をするのか、具体的に発表していました。修了研究活動中間発表会は8月23日(金)に、修了研究活動発表会は11月28日(木)に開催予定です。

●専攻科【酪農機械・施設学】

5月8日(水)～10日(金)の3日間、外部講師をお招きして「酪農機械・施設学」の講義を実施しました。この授業は、搾乳に関する手法や生理、ミルカーシステムの構造、また農作業事故が発生した時の対応についての知識を身につける授業です。

【1日目】午前の部は乳牛の快適性と飼養施設について、根室農業改良普及センター主任普及指導員

武井昌夫様より、乳牛の飼養施設の違いによって快適性にどのような影響があるのか、牛の生態をふまえてより詳しくご講義いただきました。午後からは、最新のミルカーシステムの種類と特徴、適切なメンテナンス・洗浄方法について、北海道オリオン株式会社別海営業所所長・中谷泰久様、クリーン化学工業株式会社(恵庭市)吉田憲司様より詳しくご講義いただきました。



研修会の様子

【2日目】午前の部は牛にも人にも優しい木造牛舎の設計について、有限会社吉田ハウス代表取締役社長・吉田史郎様より、また、午後からは最も基本的な搾乳の正しい手順、研修牧場の役割について別海町酪農研修牧場・嶋野幹夫場長より、具体的にご講義いただきました。

JAグループ通信

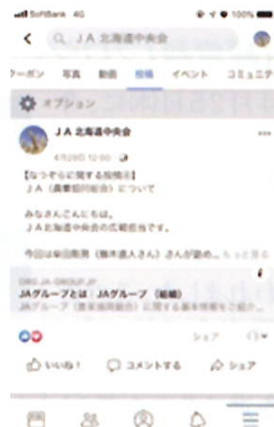
JA北海道中央会



NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていますでしょうか？ JA北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞらに関する投稿」を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協（JA）についても、取り上げられていることから、北海道農業をサポートするJAグループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、JAに関する歴史・話題などをお届けしてゆく予定です。フェイスブックにて検索頂きJA北海道中央会のページに「いいね!」「ページをフォローする」をタップ頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧いただけると幸いです。フェイスブックページで「JA北海道中央会」で検索するか、または、こちらのアドレスからどうぞ。

⇒ <https://www.facebook.com/jahokkaido>



JA北海道信連



JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。

「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました。



JA共済連北海道



JA共済連では、道内の8校（中・高等学校）にて、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（スケアード・ストレイト教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

JA共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。



ホクレン



ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員JA・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただき記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念～わたしたちは生産者のための協同組合として会員JAと連携した事業をと「食」の未来を担います～が内田会長より発表されました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

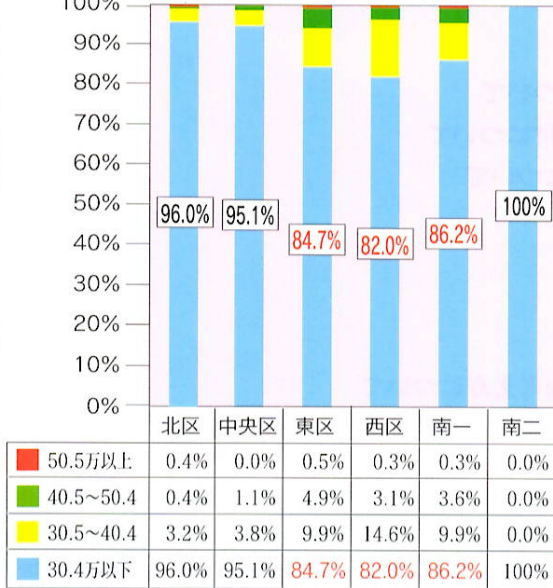


生乳汚染事故を無くそう！

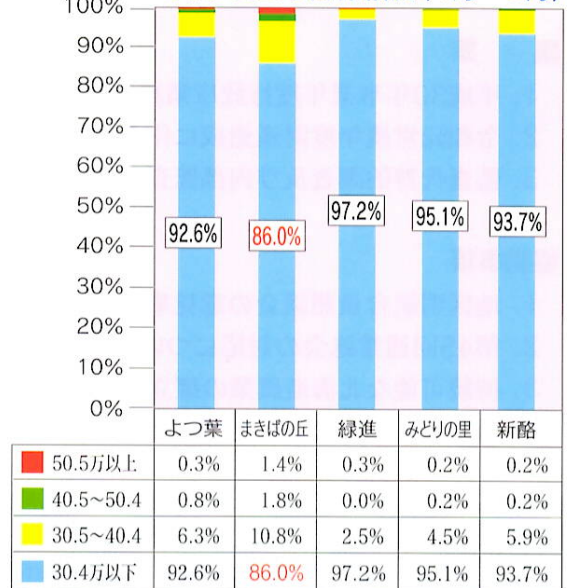
- **抗菌性物質**混入事故……………JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**2**件です。
- **生菌**による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入、加水、血乳**による汚染事故………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- **異臭、異常風味**による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

“安全で”“良質な”生乳生産に努めよう！

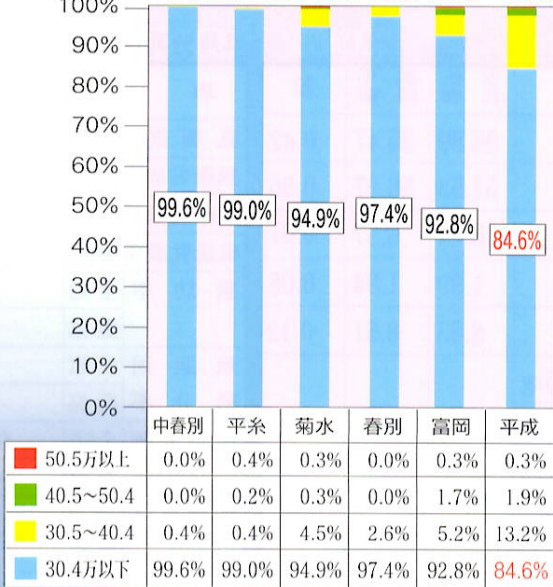
豊原地区毎日々体細胞(4月~5月)



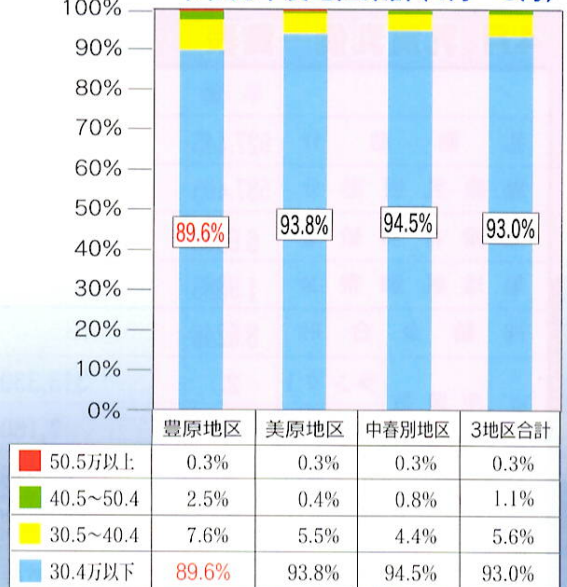
美原地区毎日々体細胞(4月~5月)



中春別地区毎日々体細胞(4月~5月)



令和元年度地区集計(4月~5月)



第3回 理事会の動き

令和元年5月29日(水)

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 組合員の加入について
3. 平成30年度法人税等の納付額について
4. 固定資産の取得について
5. 牛魂祭・農作業安全祈願祭について
6. 共済一斉推進の実績について
7. 2019「JAバンク北海道 メイン化推進施策」2019さしあげマスマスの実施について
8. 令和元肥料年度推進要領について
9. 令和元年度4月末営農関連実績について

議案

1. 平成30年事業年度行政庁業務報告書の提出について
2. 令和元営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
3. 監査代替的調査及び内部監査受託に係る契約について

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について
2. 第45回通常総会の対応について
3. 持続可能な北海道農業の確立に向けた基本的な考え方について
4. 令和2年度(2020年度)酪農畜産政策・価格対策並びに酪肉近計画見直しに係る組織討議について

4月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

4月分乳代支払単価

				単 価	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%
乳 脂 肪 分				927.445	36.89	36.47	0.42	乳 脂 肪 分 ①	36円89銭
無 脂 乳 固 形 分				587.405	51.53	50.97	0.56	無 脂 乳 固 形 分 ②	51円53銭
生 産 者 補 給 金				6.6363	6.64	6.57	0.07	生 産 者 補 給 金 ③	6円64銭
集 送 乳 調 整 金				1.9885	1.99	1.94	0.05	集 送 乳 調 整 金 ④	1円99銭
補 給 金 合 計				8.6248	8.63	8.51	0.12	脂 肪 率 全 道	3.98%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	313,330,103.6kg	3.76	3.75	0.01	農 協	4.06%
		ランク2	0	7,160,946.4kg				無 脂 固 全 道	8.77%
		ランク3	-3	218,053.1kg				形 分 率 農 協	8.71%
	体細胞数	ランク1	2	284,340,258.6kg				成 分 乳 価 全 道	97円05銭
		ランク2	1	19,674,387.9kg				①+②+③+④=⑤ 農 協	97円47銭
		ランク3	-2	3,235,350.9kg				乳 質 乳 価 全 道	3円76銭
合 計					100.81	99.70	1.11	⑥ 農 協	3円78銭
								乳 代 合 計 全 道	100円81銭
								農 協	101円25銭
								⑤+⑥ 差 異	0円44銭

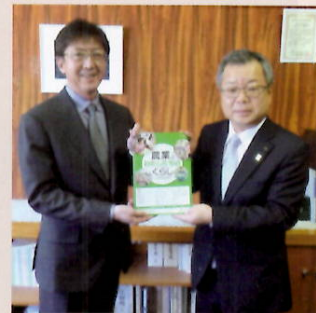
JAバンク食農教育応援事業

子供たちが食・環境と農業への理解を深めるための教材を寄贈

5月16日(木)に食農教育補助教材を中春別小学校と野付小学校へ寄贈いたしました。

JAバンク食農教育応援事業の一環として、平成20年度より実施している全国の小学校5年生を対象に「農業とわたしたちの暮らし」とした教材に加えて、DVD補助教材を寄贈いたしました。

私たちの生活に欠かせない食・環境と農業の密接なかわりを意識し、理解を深めることを目的に展開しており、子供たちが農業に興味を持つきっかけとなることを願っています。



ミルクロールケーキがリニューアル!

「ミルクロールケーキ」が「なかしゅんロール」としてリニューアル販売を開始しました。中標津町内の人気洋菓子店「ポルテ」に製造依頼し完成。当JAのオリジナル商品として、更に多くの皆様にお買い求めいただければと思います。



Aコープ
中春別にて
販売中!

1,380円(税込)

河川流域の保全と環境に配慮した酪農の推進に向けて 別海町植樹祭



別海町主催による植樹祭が5月25日(土)に別海ふるさとの森にて、多数の参加者のもと盛大に開催されました。

当地区からは組合員・職員合わせて10人が参加し、0.66haの会場に1500本のアカエゾマツの植樹を行いました。気温の高い中での植樹祭となり、額に汗を流しながらも植樹を行い、無事に全ての苗木を植樹することができました。



組合員の広場



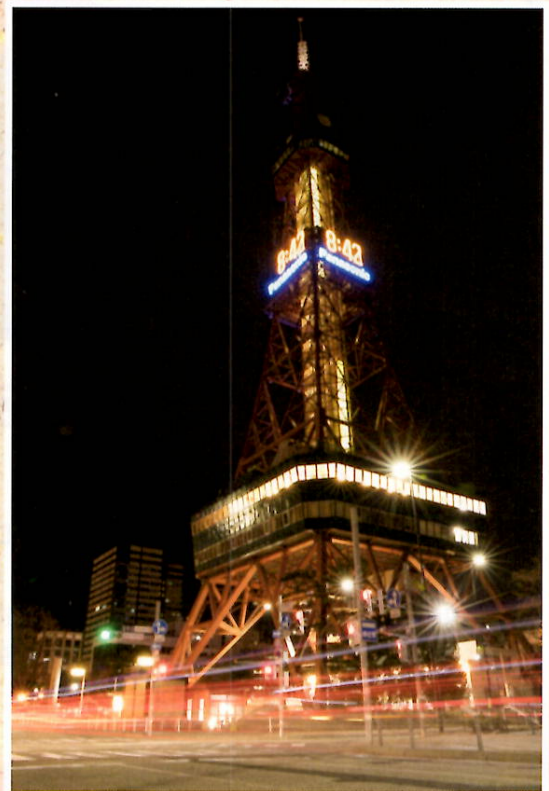
作品名「釧路工場夜景」小林亮平さん



作品名「釧路工場夜景」小林亮平さん



作品名「白エゾリス」
小林亮平さん



作品名「テレビ塔レーザービーム」小林亮平さん

今月号の組合員の広場は小林亮平さんの作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・佐々木(電話76-2241番)までお気軽にご連絡ください。